



2015.12.15 更新

氏 名 遠 部 卓 (おんべ たかし)

退職年 平成6 (1994) 年

職歴等

広島大学退職時の所属部局 生物生産学部

現職

専門分野 海洋プランクトン生態学、海産枝角類(ミジンコ)の生物学 (最近は、日本のプランクトン学の先達を顕彰するためその生涯と業績の調査研究を行っている)

専門にかかわらない特技、趣味等 囲碁、絵画

職歴等主な活動歴 元広島大学教授 (現在名誉教授)、ウッツホール海洋研究所客員研究員 (1980-1981)、元日本プランクトン学会会長 (1989-1993)、日本プランクトン学会名誉会員 (2007~)、The Crustacean Society (USA) 会員 (1981~)、東広島自然研究会会員 (1988~)。

地域社会での主な活動歴 東広島市自然研究会会員として、いままでに海岸動植物の採集と観察 (宮島、竹原、安芸津・大柴島)、西条盆地の溜池のプランクトン・稲田の大型鰓脚類の採集と観察など、会員と市民 (小中学生を含む) とともにいき、その都度、会誌へ報告してきた。

著書 「瀬戸内海の油汚染」津田 覚 編・分担執筆 (1976), 大日本図書, 東京;
「瀬戸内海の環境」小坂敦夫編, 分担執筆 (1985), 恒星社厚生閣, 東京;
「Crustacean Egg Production」 Wenner, A. and A. Kuris, ed s., 分担執筆 (1991), A.A. Balkema, Rotterdam; 「日本産海洋プランクトン検索図鑑」千原光雄・村野正昭 編・分担執筆 (1997), 東海大出版, 東京; 「Advances in Marine Biology」 Vol. 31, Blaxter, J.H.S and A. J. Southward, eds., 分担執筆 (1997), Academic Press, London; 「South Atlantic Zooplankton」 Boltovskoy, D., ed., 分担執筆 (1999), Backhuys Publ., Leiden;など

マスタースでの活動

